

2027年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2026年7月7日

上場会社名 株式会社パルグループホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 2726 URL <http://www.palgroup.holdings/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長(氏名) 児島 宏文
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員経営企画本部長(氏名) 為田 招志 (TEL) (06)6227-0308
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年2月期第1四半期の連結業績(2026年3月1日~2026年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|--------|------|-------|------|-------|------|------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2027年2月期第1四半期 | 61,354 | 4.5 | 7,953 | 1.3 | 7,944 | 1.1 | 5,414 | 3.4 |
| 2026年2月期第1四半期 | 58,727 | 14.2 | 7,854 | 24.6 | 7,857 | 22.3 | 5,234 | 24.7 |

(注) 包括利益 2027年2月期第1四半期 5,485百万円(3.6%) 2026年2月期第1四半期 5,292百万円(25.8%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2027年2月期第1四半期 | 31.18 | — |
| 2026年2月期第1四半期 | 30.15 | — |

(注) 当社は、2025年9月10日を基準日(2025年9月11日を効力発生日)として普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。これに伴い、2026年2月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|---------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2027年2月期第1四半期 | 161,852 | 84,540 | 50.6 |
| 2026年2月期 | 164,496 | 86,167 | 50.8 |

(参考) 自己資本 2027年2月期第1四半期 81,852百万円 2026年2月期 83,548百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2026年2月期 | — | 0.00 | — | 40.00 | 40.00 |
| 2027年2月期 | — | — | — | — | — |
| 2027年2月期(予想) | — | 0.00 | — | 40.00 | 40.00 |

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2. 当社は2025年9月10日を基準日(2025年9月11日を効力発生日)として普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。2026年2月期における期末配当金については、当該株式分割後の内容を記載しております。

3. 2027年2月期の連結業績予想（2026年3月1日～2027年2月28日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|---------|-----|--------|-----|--------|-----|-----------------|-----|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 126,000 | 7.6 | 15,000 | 6.4 | 15,000 | 6.6 | 9,850 | 7.2 | 56.72 |
| 通期 | 253,000 | 7.8 | 29,400 | 8.3 | 29,400 | 8.4 | 19,000 | 7.3 | 109.41 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

| | | | |
|------------|--------------|----------|--------------|
| 2027年2月期1Q | 185,088,000株 | 2026年2月期 | 185,088,000株 |
|------------|--------------|----------|--------------|

② 期末自己株式数

| | | | |
|------------|-------------|----------|-------------|
| 2027年2月期1Q | 11,441,694株 | 2026年2月期 | 11,441,694株 |
|------------|-------------|----------|-------------|

③ 期中平均株式数（四半期累計）

| | | | |
|------------|--------------|------------|--------------|
| 2027年2月期1Q | 173,646,306株 | 2026年2月期1Q | 173,646,266株 |
|------------|--------------|------------|--------------|

(注) 当社は、2025年9月10日を基準日（2025年9月11日を効力発生日）として普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。これに伴い、2026年2月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | 6 |
| 第1四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| 第1四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (セグメント情報等の注記) | 8 |
| (キャッシュ・フロー計算書に関する注記) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2026年3月1日から2026年5月31日まで)におけるわが国経済は、高水準の賃上げを背景に個人消費の持ち直しが期待されたものの、人手不足やコスト高、円安に伴うインフレ懸念から、その先行きは不透明に推移いたしました。一方、海外経済はデジタル・AI関連投資が牽引する半面、その他の設備投資は低調であり、景気の二極化が顕著となりました。さらに、中東紛争の激化に伴う原油高やホルムズ海峡の封鎖が、グローバルなサプライチェーンに深刻な供給不安をもたらすなど、内外ともに予断を許さない経営環境となりました。

このような事業環境のもと、当社グループの衣料事業におきましては、商品企画・生産・販売のMDサイクルを短期化し、新商品の店頭展開期間を4週間程度に設定することで、常に新鮮な売場環境の維持に努めました。さらに、当第1四半期連結会計期間末時点で社員インフルエンサーのSNS総フォロワー数が2,650万人を超え、自社ECプラットフォーム「パルクローゼット」のアプリ会員数が前年同期末比で200万人以上増加の1,407万人となるなど、顧客基盤の構築が一段と進展いたしました。これらの強固な顧客基盤を背景に、SNSマーケティングやECにおける先行予約・購買行動等から得られる膨大なデータを分析し、トレンド変化の早期把握や適時適量発注の精度向上へと繋げております。これらの取り組みを通じて在庫管理を徹底し、値引き販売を抑制した結果、売上総利益率は大きく向上いたしました。その結果、衣料事業の売上高は、前年同期比2,097百万円増加の38,324百万円、営業利益は、前年同期比368百万円増加の6,079百万円となりました。

また、雑貨事業におきましては、商品の付加価値に見合う適正な価格設定に加え、初期発注数量の抑制による廃棄商品の削減に注力した結果、売上総利益率は高い実績となった前年同期を上回りました。一方で、発注数量の抑制に伴い店頭での販売機会ロスが発生したことなどから既存店売上高が想定を下回り、さらに人件費の伸びが売上高の伸びを上回ったことにより、営業利益は前年同期を下回る結果となりました。

販売施策といたしましては、積極的な新規出店と店舗の大型化、および「3COINS」における300円商品の開発・投入強化を継続いたしました。加えて、当期首より同ブランドのEC倉庫を衣料事業と統合し、自社ECプラットフォーム「パルクローゼット」において衣料と雑貨の同梱発送を可能とするなど、EC販売の強化を推進しております。なお、一部報道にあるような商品調達への影響は発生しておらず、下期に向けて商品開発体制の陣容を一段と強化し、新商品の積極的な開発・投入による新規顧客の獲得を成長ドライバーとして、事業拡大を推進してまいります。

さらに、海外卸売事業の拡大にも注力しており、4月には香港3号店となる「エアサイド店」をオープンするなど、さらなる規模拡大を図ってまいります。

その結果、雑貨事業の売上高は、前年同期比593百万円増加の22,989百万円、営業利益は、前年同期比269百万円減少の1,868百万円となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、61,354百万円(前年同期比4.5%増)となりました。利益面につきましては、営業利益は7,953百万円(同1.3%増)、経常利益は7,944百万円(同1.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は5,414百万円(同3.4%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、現金及び預金が11,183百万円減少し、受取手形及び売掛金が5,283百万円、商品及び製品が2,121百万円それぞれ増加しましたが、前連結会計年度末に比べて3,638百万円減少しました。

固定資産は、建物及び構築物が527百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べて993百万円増加しました。

(負債)

流動負債は、支払手形及び買掛金が728百万円、賞与引当金が1,312百万円増加し、電子記録債務が4,801百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べて1,735百万円減少しました。

固定負債は、長期借入金が688百万円増加し、役員退職慰労引当金が116百万円が減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べて718百万円増加しました。

(純資産)

純資産は、利益剰余金が1,697百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べて1,626百万円減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年2月期の業績予想につきましては、2026年4月7日に「2026年2月期決算短信」で公表いたしました業績予想からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2026年2月28日) | 当第1四半期連結会計期間 (2026年5月31日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 96,264 | 85,081 |
| 受取手形及び売掛金 | 13,076 | 18,360 |
| 商品及び製品 | 18,083 | 20,204 |
| その他 | 1,335 | 1,474 |
| 流動資産合計 | 128,759 | 125,120 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 11,152 | 11,680 |
| その他(純額) | 3,036 | 3,180 |
| 有形固定資産合計 | 14,189 | 14,860 |
| 無形固定資産 | 739 | 763 |
| 投資その他の資産 | | |
| 差入保証金 | 14,382 | 14,471 |
| その他 | 6,507 | 6,716 |
| 貸倒引当金 | △81 | △81 |
| 投資その他の資産合計 | 20,808 | 21,107 |
| 固定資産合計 | 35,737 | 36,731 |
| 資産合計 | 164,496 | 161,852 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 25,719 | 26,447 |
| 電子記録債務 | 11,003 | 6,202 |
| 短期借入金 | 800 | 990 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 228 | 221 |
| 未払法人税等 | 5,018 | 2,672 |
| 賞与引当金 | 3,232 | 4,545 |
| ポイント引当金 | 267 | 268 |
| 役員賞与引当金 | 2,052 | 799 |
| その他 | 10,441 | 14,879 |
| 流動負債合計 | 58,762 | 57,026 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 11,390 | 12,079 |
| 退職給付に係る負債 | 1,705 | 1,734 |
| 役員退職慰労引当金 | 501 | 384 |
| 資産除去債務 | 5,131 | 5,295 |
| その他 | 838 | 791 |
| 固定負債合計 | 19,567 | 20,285 |
| 負債合計 | 78,329 | 77,311 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2026年2月28日) | 当第1四半期連結会計期間 (2026年5月31日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 3,181 | 3,181 |
| 資本剰余金 | 4,478 | 4,478 |
| 利益剰余金 | 79,266 | 77,568 |
| 自己株式 | △3,672 | △3,672 |
| 株主資本合計 | 83,253 | 81,555 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 20 | 20 |
| 為替換算調整勘定 | 40 | 59 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 233 | 216 |
| その他の包括利益累計額合計 | 295 | 296 |
| 非支配株主持分 | 2,618 | 2,688 |
| 純資産合計 | 86,167 | 84,540 |
| 負債純資産合計 | 164,496 | 161,852 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自2025年3月1日 至2025年5月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自2026年3月1日 至2026年5月31日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 58,727 | 61,354 |
| 売上原価 | 24,083 | 24,720 |
| 売上総利益 | 34,644 | 36,634 |
| 販売費及び一般管理費 | 26,789 | 28,681 |
| 営業利益 | 7,854 | 7,953 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 2 | 4 |
| 受取ロイヤリティー | 2 | 2 |
| 為替差益 | 22 | 5 |
| その他 | 31 | 37 |
| 営業外収益合計 | 58 | 49 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 39 | 49 |
| その他 | 15 | 8 |
| 営業外費用合計 | 55 | 58 |
| 経常利益 | 7,857 | 7,944 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 0 | 3 |
| 減損損失 | 37 | 19 |
| 特別損失合計 | 37 | 23 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 7,819 | 7,921 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 2,888 | 2,569 |
| 法人税等調整額 | △387 | △131 |
| 法人税等合計 | 2,500 | 2,437 |
| 四半期純利益 | 5,318 | 5,483 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 84 | 69 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 5,234 | 5,414 |

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年5月31日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 5,318 | 5,483 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △0 | △0 |
| 為替換算調整勘定 | △17 | 19 |
| 退職給付に係る調整額 | △8 | △16 |
| その他の包括利益合計 | △26 | 1 |
| 四半期包括利益 | 5,292 | 5,485 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 5,207 | 5,416 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 84 | 69 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|-----------------------|---------|--------|--------|--------------|--------|--------------|--------------------------------|
| | 衣料事業 | 雑貨事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 顧客との契約から生じる収益 | 36,226 | 22,395 | 58,622 | 105 | 58,727 | — | 58,727 |
| 外部顧客への売上高 | 36,226 | 22,395 | 58,622 | 105 | 58,727 | — | 58,727 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | — | — | 47 | 47 | △47 | — |
| 計 | 36,226 | 22,395 | 58,622 | 152 | 58,775 | △47 | 58,727 |
| セグメント利益又は損失(△) | 5,710 | 2,138 | 7,848 | △4 | 7,843 | 10 | 7,854 |

(注) 1. 「その他」に含まれる事業は、人材派遣業等であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去額10百万円であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「衣料事業」において11百万円、「雑貨事業」において26百万円それぞれ減損損失を計上しています。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|-----------------------|---------|--------|--------|--------------|--------|--------------|--------------------------------|
| | 衣料事業 | 雑貨事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 顧客との契約から生じる収益 | 38,321 | 22,989 | 61,310 | 43 | 61,354 | — | 61,354 |
| 外部顧客への売上高 | 38,321 | 22,989 | 61,310 | 43 | 61,354 | — | 61,354 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 2 | — | 2 | 47 | 49 | △49 | — |
| 計 | 38,324 | 22,989 | 61,313 | 91 | 61,404 | △49 | 61,354 |
| セグメント利益又は損失(△) | 6,079 | 1,868 | 7,947 | △1 | 7,945 | 7 | 7,953 |

(注) 1. 「その他」に含まれる事業は、地方創生事業等であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去額7百万円であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「衣料事業」において3百万円、「雑貨事業」において15百万円それぞれ減損損失を計上しています。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年5月31日) |
|---------|---|---|
| 減価償却費 | 735百万円 | 830百万円 |
| のれんの償却額 | 19百万円 | 19百万円 |